

「中小企業診断士の日」 記念シンポジウム

平成29年11月11日(土)、埼玉会館ラウンジにて、「中小企業診断士の日」記念シンポジウムを開催しました。会員ほか埼玉県下で中小企業支援に携わる行政、商工団体、金融機関など親交の深い関係各所から73名の参加をいただきました。

1. シンポジウム内容

(1) 第一部 基調講演「成長する企業は何かが違う～その条件とは?～」

講師 明治大学政治経済学部 専任教授 森下正様



明治大学政治経済学部 森下教授の基調講演

森下教授は埼玉県秩父地域の中小企業支援にも関わられ、グローバルな視点と従業員重視、取引先重視、顧客重視、地域・社会環境重視の「社会性の高い企業を目指す」という示唆にあふれる内容でした。

主な項目は以下のとおり

1) 変貌する埼玉県経済

- ・人口推移、人口ピラミッド、企業数
- ・国籍別訪問者数

2) 経営環境変化への対応は永遠の取組

- ・家・企業・地域産業を取り巻くパラダイム転換
- ・深刻化する人材不足問題
- ・次々と変わる多様なマネジメント規格
- ・経済のグローバル化への対応
- ・埼玉県「秩父のお菓子な郷協議会」によるシリコンバレー進出の事例

3) 効率至上主義に代わる持続可能経営

- ・効率至上主義経営の行く末
- ・持続可能経営のあり方(現代版近江商人魂)

- ・従業員重視志向の実践
- ・仕入先(取引先)重視志向
- ・お客様(顧客)重視志向
- ・地球・社会環境重視志向
- ・社会環境を維持・再生する経営

4) 社会性の高い企業を目指して

- ・感謝され、応援される経営
- ・期待(予想)以上の感動を与える経営
- ・拡大よりも充実(手間暇かける)の経営

(2) 第二部 ワールド・カフェ

「『企業の成長』と『従業員の幸福』を実現するためにどうしたらよいか？」

埼玉県協会のイベントでは恒例の「ワールド・カフェ」では、招待客も加わる11グループに分かれて、気づきを伴う意見交換で大いに盛り上がりました。



ワールド・カフェの様子

2. 参加者の声

目の前の問題解決だけでなく、社会における企業の役割から考える大切さを実感した。また、支援機関等、診断士とは違った立場の方との貴重な交流の機会となりました。(青木知雄)